

自立困難な出所者等の受入拡大に期待して



統括保護観察官

北川 正博

犯罪白書等によれば、平成十六年以降、刑務所出所者に占める満期釈放者の割合が年々増加し、平成二十一年には出所者全体の 5 割を超えて、そのうちの約 4 割を超える者（6 千 7 1 5 人）が、適当な帰住先がないなど帰るべき住居を持たない者が増えています。

また、この間に刑務所に再入所した者を見ると、前回出所時に適当な帰住先（親、配偶者、親族の許など）がなかった者のうち、約 6 割弱が 1 年未満に再犯に及んでいる実態から、適当な帰住先のない出所者が短期間で再犯に至る傾向が顕著となっています。

このような状況の中、刑務所出所者等の再犯防止が政府全体の重要な課題に取り上げられ、法務省内にも出所者等の効果的な社会復帰支援施策を検討するプロジェクトチームが設置されるなど新規施策を含めた総合的な対策が提案される運びとなりました。平成 1 8 年度から厚生労働省と連携した刑務所出所者等に対する総合的就労支援策をスタートに、同二十一年度からは高齢・障害等により自立困難な出所者等を円滑な形で地域の福祉サービスに結びつけて社会

復帰を支援する地域生活定着支援事業が全国的に進められ、昨年度には、行き場のない出所者等の受入先を更に確保する必要から緊急的住居確保・自立支援対策として自立準備ホーム（現在県内には、3 法人 5 施設を登録）が導入されています。

そして本年度には、薬物事犯、粗暴・凶悪犯、性犯、放火犯、暴力団、長期刑など処遇困難で、これまで更生保護施設での受入れが進まなかった者達を「自立困難」な対象とし、委託費に一定額を加算する形で当該ケースの受入れに積極的に取り組んでいただくことと委託費予算の組替えが行われました。もとよりこれら自立困難者は、集団生活に馴染みにくい（規則違反）面や早期自立の道筋が立たず保護が長引くことへの懸念、地域事情を考慮しなければならぬなど様々なマイナスイメージから受入れが消極的にならざるを得なかった実情等があるので、単に予算措置のみで受入れが飛躍的に進むとは思えません。が、上述したように行き場のない出所者等に社会の中で『居場所』を与えることが、再犯防止を図る上で不可欠であることを鑑みると更生保護施設での受入れが一人でも多く増えることが期待されると思います。

今こそ犯罪者の処遇施設として、更生保護施設の底力を見せる時がやってきていると思います。皆様方の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

更生保護法人「千葉県婦性会」

会長就任にあたり

千葉県婦性会
会長

橋本 照稔

このたび「千葉県婦性会」理事長を一身上の都合により辞任いたしましたところ、改めて新設の「会長」職にご推挙いただき、恐縮いたします。前職時代に頂いた各位のご芳情に改めて感謝と御礼を申し上げます。

昭和三十年代より財団法人「千葉県婦性会」の役員として会の運営に係わり、特に石井武一会長時代に始まった婦性会の新築には副会長として募金、設計、仕様など、又、旧家屋の「仏間。礼拝施設」の新館への存置、更には所在地の無償借用契約などなど、今も新鮮に脳裏に浮かびます。

今や「婦性会」は「更生保護法人」に改まり、時代と共に改正される国の更生保護施策に対応すべく、千葉県唯一の保護会の役割は増々重要度を増しております。

兒玉新理事長のもと、輝かしき実績を誇る婦性会の愈々の発展を念願いたします。

